

公表:令和 5 年 11 月 1 日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				設置基準を遵守
	②	職員の配置数は適切であるか		○			職員の体調不良による急な退職による人員欠如が発生したが、代替要員にて対応実施。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			車いす対応のトイレも利用することが可能。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			定期的な会議によるPDCAサイクルの活用	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			事業所評価アンケートを実施。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			当事業所ホームページにて公開。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		第三者委員会は設置していない。研修や保護者の意見から業務改善を実施。必要に応じ検討。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年間計画を通じて、内部研修の実施。	
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントを本人、ご家族に取りながら、ニーズを把握しサービス計画に反映している。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメント表を使用。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			専門職からの意見を取り入れながら、プログラムを計画している。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			定期的な見直しや、状況に合わせ固定化しないように図っている。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		休日、長期休暇ともに変わらない時間で運営。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別療育を中心としているが、集団活動も児童によっては取り入れている。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○			支援前に共有できない場合はなど、記録に残して随時確認が行えるようにする。

	⑩⑥	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○			支援後に共有できない場合は、記録に残して随時確認が行えるようにする。
	⑩⑦	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		記載担当を決め、支援のつながるように記録を残している。	
	⑩⑧	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		6か月に1度、計画の見直しを行うためのモニタリングを実施している。	
	⑩⑨	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか		○		ガイドラインの活動を組み合わせ、計画を作成している。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑩⑩	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		サービス担当者会議は、児童発達管理責任者を中心に、管理者、その他の職員が参加。	
	⑩⑪	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		保護者を通して、学校行事の把握を行っている。送迎時トラブル発生時のマニュアルも作成している。	
	⑩⑫	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			現状では、医療的ケアが必要な子供がいないが、在籍した場合は、主治医との連携を図る。
	⑩⑬	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		児童発達支援事業所から、アセスメントや利用状況などの引継ぎ、情報共有を行っている。	
	⑩⑭	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○			現状では、放課後等デイサービスからの卒業者はいないが、今後必要に応じて情報提供を行う。
	⑩⑮	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		札幌市で企画開催されている研修に定期的に参加し、サービスの向上に努めている。	
	⑩⑯	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○		現状では積極的な交流はなく、今後交流の機会を設けたい。
	⑩⑰	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		定期的に参加し、知見の獲得、他事業所との情報交換を行っている。	
	⑩⑱	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		送迎時や家庭連携により、ご家族と会話する機会を取り入れている。	
	⑩⑲	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○		ペアレントトレーニングとしては実施しておらず、今後、取り入れていきたい。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に十分な時間を取り、説明を行っている。	
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			訪問時の会話や連絡帳を通じて相談を行い、希望により直接の時間を設けて行う。	
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		保護者会は未実施となっており。今後、テーマや研修などをの開催を検討。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			相談窓口を設置し、責任者が随時対応を行っている。またマニュアル制定もあり。	
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○		連絡帳などによる連絡体制はあるが、会報誌の発行やなどはなく今後検討していきたい。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の取り扱いは十分に注意し、鍵付きの棚に保管している。	
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			言葉のみではなく、理解が得られやすい方法を検討して実施している。	
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		地域との交流は積極的に行っていないが、機会があれば参加していきたい。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各種マニュアルについては制定し、職員がいつでも閲覧できるように事業所内に保管している。	
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回以上の避難訓練、模擬研修の実施を予定。	
	④⑰	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			事業所内で、虐待防止についての研修を行っている。	
	④⑱	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			重要事項説明書などに記載し、契約時に説明を行っている。	
	④⑲	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				保護者より聴取し対応しているが、必要に応じて医師の診断を仰ぐ。
	④⑳	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			報告書があり、発生した場合は事業所内で周知共有を行っている。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。